

職業実践力育成プログラムのご案内

1. 履修証明プログラム名：子どもの心の支援にかかる高度人材育成プログラム

2. 開設部局：長崎大学 子どもの心の医療・教育センター

3. プログラム実施の目的：発達障害等による子どもの心の問題を支援する一策として、教師や保育士、療育関係者等に発達障害や特別支援教育、医療的な支援に関して教育プログラムを提供し、子どもにかかる専門職の支援能力向上、キャリアアップを図る。

4. 講義方法：全てeラーニング（eラーニングとは、主にインターネットを利用した学習形態のこと、自宅からの学習が可能）

5. 試験：各講義毎のテスト（1テストにつき10問）に対して、ネット上で回答。

6. 履修資格：高卒以上の学歴があり、発達障害のある子どもに関わっている方（教師、臨床心理士、保育士、療育関係者、保護者等）

7. 定員及び受講料

科目(コース)名	定員数	コマ数	年間受講料
A. 発達障がいの基礎・アセスメントコース	150	40コマ(60時間)	30,000円
B. 発達障がい児への支援コース	150	40コマ(60時間)	30,000円
C. 発達障がいトピックコース	250	40コマ(60時間)	30,000円

8. 内容：発達障害や精神障害のタイプ、それぞれの特性に関すること、様々な問題がある子どものアセスメント、それぞれの問題に対する支援方法、関係機関の機能や各機関との連携方法について、子どもの心の医療・教育センター兼務教員や各領域で活躍している講師によるオンライン上で受講できるeラーニング講義を実施します。これにより、子どもの心の問題を早期に的確に把握し対応する能力、関係機関や保護者と連携する能力を身に付けていただきます。教師、保育士、療育関係者など、現在就業中で、勤務時間が異なる受講者、遠隔地に勤務し来学が困難な受講者などが受講可能なように、時間や場所にとらわれない、eラーニングによる自己学習を実施していただきます。全てのプログラムを修了すると、長崎大学から認定証が授与されます。

9. 修了要件：3つのコースの中で選択されたコースの講義（各コース60時間）を全て受講し、各コースの科目試験に全て合格した場合。

10. 申し込みについて

①募集期間 R2年12月7日(月)正午～12月21日(月)午後1時

②申込み方法 R2年12月7日(月)正午に当センターwebページ

<http://www.cme.nagasaki-u.ac.jp/index.htm>上に申し込みのための
グーグルフォームURLを掲載しますので、そちらからお申込み下さい。

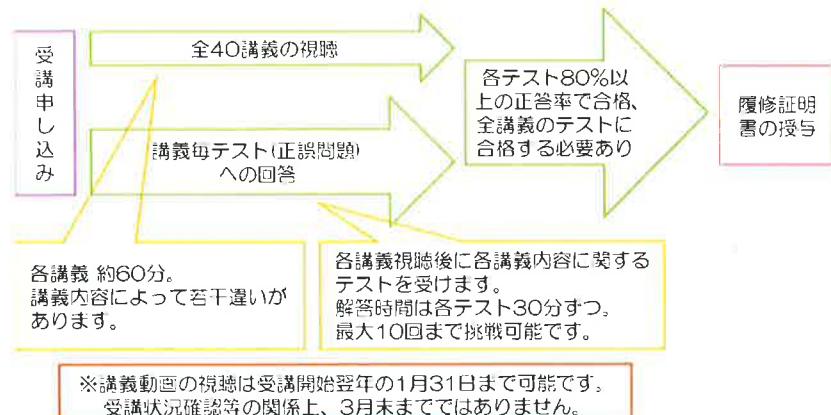
③受講可否発表 R3年3月頃予定（本人へ郵送またはメールにて通知）

※受講可否は先着順にて選考させていただきます。

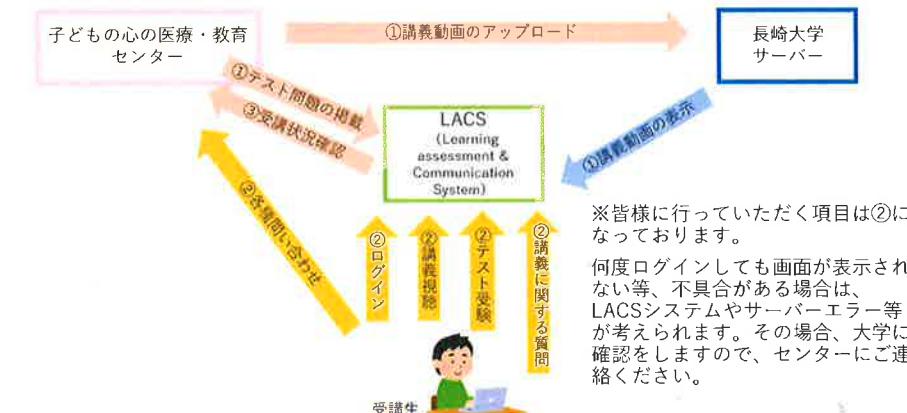
④問い合わせ先

kodomonokokoro@ml.nagasaki-u.ac.jp

11. 認定証授与までの流れ



12. E-ラーニング受講の仕組み



13. eラーニング講義、講師一覧

1 : 発達障がいの基礎・アセスメントコース

	授業科目	担当者
1	知的発達症・限局性学習症	吉田ゆり
2	コミュニケーション症	岡久美子
3	注意欠如・多動症	岩永竜一郎
4	自閉スペクトラム症 1	岩永竜一郎
5	自閉スペクトラム症 2	岩永竜一郎
6	発達性協調運動障害	岩永竜一郎
7	双極性障害・うつ病	今村明
8	統合失調症とその前駆症状について	今村明
9	大人の自閉スペクトラム症	今村明
10	大人のADHD	今村明
11	子どもの神経症性障害	今村明
12	選択性缄默	金原洋治
13	少年犯罪について	今村明
14	子どものトラウマとその対応	今村明
15	てんかん	本田涼子
16	子どもの高次脳障害	若松みちえ
17	保護者の心理・受容までのプロセス、保護者とのかかわり	吉田ゆり
18	医療による対応：診断、薬物治療	今村明
19	子どもの自殺を防ぐために	中根允文
20	子どもによる犯罪を防ぐために	中根允文
21	発達障害児へのアセスメント概論・スクリーニング	吉田ゆり
22	知能検査の結果に基づく支援(Binet系、Wechsler系)	吉田ゆり
23	認知発達検査の結果に基づく支援(K-ABC、K式)	吉田ゆり
24	発達検査(KIDS、遠城寺、JMAPなど)	徳永瑛子
25	言語の評価	岡久美子
26	協調運動・感覚処理の評価	岩永竜一郎
27	行動の評価(適応行動、ADHD評価含む)	岩永竜一郎
28	ASDの評価	岩永竜一郎
29	LDの評価	増本利信
30	特別支援教育の概要と新しい指導要領について	岡野由美子
31	教育委員会の取り組み	石橋善仁
32	通常学級における特別支援教育	岡野由美子
33	個別の教育指導計画・教育支援計画	増本利信
34	通級指導教室における支援	増本利信
35	特別支援学級での支援	木村栄
36	学校における構造化の実践 ～特別支援学校(知的)高等部での取組について～	前田美和
37	スクールカウンセラーによる支援	伊藤勢津子
38	スクールソーシャルワーカーの役割と支援	宮野伸枝
39	保育所での指導	吉田ゆり
40	大学における発達障害学生の支援	Peter Bernick

2 : 発達障がい児者への支援コース

	授業科目	担当者
41	応用行動分析	高橋甲介
42	早期の自閉症児への介入	服巻智子
43	認知行動療法	田山淳
44	発達障害児の言語発達支援	岡久美子
45	自閉症児の学習スタイルと環境づくり(TEACCHアプローチに学ぶ)	服巻智子
46	ASD児のコミュニケーション支援	服巻智子
47	感情マネジメント	服巻智子
48	感覚・協調運動の問題への対応	岩永竜一郎
49	日常生活支援(食事、排泄、睡眠など)	荻野明日香、仙石泰仁
50	不登校への対応	河田将一
51	虐待を含む養育不全への対応 ～ASDにおける社会性不全と養育不全への対応～	服巻智子
52	発達障害児への性教育1	宮原春美
53	発達障害児への性教育2	宮原春美
54	読み書きの支援1(ひらがな編)	村井敏宏
55	読み書きの支援2(漢字編)	村井敏宏
56	見ることの支援1	増本利信
57	見ることの支援2	増本利信
58	算数の支援	山田充
59	発達障害児のための道具の工夫	鶴下賢一
60	ITを活用した支援	高橋和義
61	ソーシャルスキル・トレーニング	田中悟郎
62	ソーシャルストーリー	服巻智子
63	ASDに対する応用行動分析と実践	服巻智子
64	ペアレントトレーニングの概要	徳永瑛子
65	NPOによる支援	東川由貴
66	発達障害者支援センター	宮崎彩
67	医療機関としての取り組み	松坂哲應
68	児童相談所による支援	柿田多佳子
69	不登校・引きこもりの支援	宮本麻明
70	健診における取り組み・保健センターの関わり	岩永竜一郎
71	児童発達支援事業所における支援	宮野伸枝
72	児童心理治療施設の機能と役割、そこでの発達障害児等への支援	宮田雄吾
73	親の会活動1	内藤貴子
74	親の会活動2、ペアレントメーターによる支援	奥野由美、柿本文香
75	就労支援の実際	伊藤道春
76	福祉サービス事業について	古庄正輝
77	相談支援事業について	藤井修
78	当事者からのはなし	山田隆一
79	巡回相談	岩永竜一郎
80	保育所等訪問支援の取り組み	井村弘子

3 : 発達障がいトピックコース

	授業科目	担当者
81	いじめ予防の実現を目指して	和久田学
82	ゲーム障害・依存症	今村明
83	ビアサポートとリカバリー	田中悟郎 他
84	吃音のある子どもの支援	菊池良和
85	適応行動の支援	萩原拓
86	高校における特別支援教育の実践	上戸綾子
87	高等専門学校における特別支援教育の実践	松尾秀樹
88	睡眠と発達障害	中井昭夫
89	発達障害とスポーツ	澤江幸則
90	発達障害児・者の歯科治療	長田豊
91	発達障害児への福祉行政支援	羽辺由紀子
92	中学校における通級による支援	高橋範卉
93	ダウントンや染色体異常による発達の課題がある子どもへの支援	近藤達郎
94	強度行動障害の理解と支援	井上雅彦
95	発達障害のある人の就労支援	赤壁省吾
96	学校との連携を通した支援	齊藤宇開
97	発達障害のある方の就労支援	梅永良二
98	児童家庭支援センターでの支援	高比良亮
99	ペアレントプログラム	辻井正次
100	アーレン症候群のある子どもの理解と支援	高畠脩平
101	子どもの発達1 乳幼児の発達～発達症(障害)の理解の基本になる基礎的な発達心理学の知識～	吉田ゆり
102	子どもの発達2 思春期から青年前期の発達～発達症(障害)の理解の基本になる基礎的な発達心理学の知識～	吉田ゆり
103	発達障害のある子どもへの幼児期に必要な支援	堀裕子
104	リストカットのある子どもへの対応	宮田雄吾
105	摂食障害への対応	宮田雄吾
106	WAVESを用いた視覚認知の評価と支援	奥村智人
107	学習障害のある児童生徒への英語指導	村上加代子
108	LD-SKAIPを用いた支援	奥村智人
109	知能検査の結果を支援に活かす～WISC-IVを使った子どもの特性理解と支援～	木谷秀勝
110	ASD児の診断のためのアセスメント	服巻智子
111	ASD児への超早期介入	服巻智子
112	発達障害のある子どもの周りへのアプローチ	増本利信
113	余暇支援について	加藤浩平
114	発達障害児者の緊急時(災害、取り調べなど)の支援	山田裕一
115	算数障害のある子どもへの支援	熊谷恵子
116	特別支援学校における就労に向けた専門的教育	田渕敏郎
117	発達障害のトラウマの影響	今村明
118	発達障害児者施策	日詰正文
119	LGBTの理解と支援	吉田ゆり
120	児童発達支援及び放課後等デイサービスにおけるリハビリテーション専門職の取り組み	酒井康年